



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月30日

上場会社名 株式会社 エスティック

上場取引所 東

コード番号 6161 URL <https://www.estic.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘英

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 最高財務責任者 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 2023年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年3月21日～2023年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,251	15.5	659	21.7	690	19.9	476	32.8
2023年3月期第2四半期	2,816	0.4	541	7.1	575	9.0	358	15.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 645百万円 (27.6%) 2023年3月期第2四半期 506百万円 (4.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	47.89	
2023年3月期第2四半期	36.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,122	8,754	85.3
2023年3月期	9,865	8,326	83.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,638百万円 2023年3月期 8,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		23.00	23.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年3月21日～2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	11.6	1,580	6.4	1,610	4.9	1,111	2.9	111.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	11,768,000 株	2023年3月期	11,768,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,820,235 株	2023年3月期	1,831,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	9,939,408 株	2023年3月期2Q	9,928,994 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2023年11月16日にアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 国内市場

当第2四半期累計期間における日本経済は、国際紛争や円安の影響などからエネルギー価格の高止まりや輸入材を中心に価格の高騰が続いております。また雇用環境は改善を示すものの実質賃金は上昇圧力が強く、全体としてコスト上昇傾向で推移してまいりました。

一方、販売面においてはコスト上昇分の販売価格への転嫁の動きや、製造業では半導体などの一部素材の供給制限の緩和などにより価格・量ともに増加傾向で推移しております。全体としての景況感については、価格転嫁などによる収益改善はコスト上昇に追いついてはいない場合が多いものの、底打ちから改善傾向にシフトしつつあります。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、業界全体としての設備投資計画は前期比増加で計画を見込んでおりますが、実態としては大型設備計画遂行のタイミングに鈍化が散見され、ネジ締付装置における受注状況は堅調ながら売上高については計画を下回る結果となりました。

一方、ハンドナットランナにおいては昨年より続いておりました半導体不足に起因した仕入部品の供給不足の状況は概ね改善してきており、引き続き堅調な受注状況のなか装置系ハンドナットランナは前述の状況も起因し当初予算を下回ったものの、ハンドナットランナ単体の売上は当初予算を上回る結果となりました。

② 米国市場

米国経済は、住宅需要に弱さがあるものの個人消費は底堅く推移しておりますが、製造業においては調整局面に入り景況感指数は悪化傾向を示しており新規受注は減少との統計結果になってきております。

当社製品の販売状況においては、既存の顧客に加え新規顧客の裾野が徐々に広がりつつあり、ハンドナットランナを中心に全品種において前年同期比を上回る状況となっております。

③ 中国市場

中国経済は、ゼロコロナ政策の解除により景気回復傾向を示しておりましたが、不動産市場の悪化により景気減速に転じており、輸出入貿易、設備投資、個人消費ともに伸び悩みや低迷を示しております。

当社主力販売先である自動車産業においては、EV関連の設備投資計画が底堅く推移しておりましたが、直近はその状況も鈍化傾向であり、先行き不透明な状況に転じてまいりました。

当社製品の販売状況においては、ハンドナットランナを中心に前期比減収となっております。

④ その他の市場

その他市場の品種別販売状況については、スペイン、インド、メキシコ、韓国などでハンドナットランナ及びナットランナの需要が前年比増加し堅調に推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上状況は上記の市場環境により、品種別販売状況については、全品種において前年同期比増収となり、売上高3,251百万円(前年同四半期比15.5%増)となりました。

利益状況は、比較的利益率の高いナットランナ、ハンドナットランナの売上が堅調に推移したことを受け、営業利益659百万円(前年同四半期比21.7%増)、売上高営業利益率20.3%(前年同四半期は19.2%)、経常利益690百万円(前年同四半期比19.9%増)、売上高経常利益率21.2%(前年同四半期は20.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益476百万円(前年同四半期比32.8%増)となりました。

地域別売上においては、海外市場でナットランナ、ハンドナットランナが堅調に推移したこともあり海外売上比率が増加し、海外売上高2,294百万円(前年同四半期比26.2%増)、国内売上高956百万円(前年同四半期比4.1%減)、売上全体に占める海外売上比率は70.6%(前年同四半期は64.6%)、国内売上比率は29.4%(前年同四半期は35.4%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、10,122百万円と前連結会計年度末比256百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、電子記録債権が92百万円、仕掛品が261百万円、原材料が102百万円、有形固定資産が694百万円増加した一方、現金及び預金が469百万円、売掛金が562百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、1,368百万円と前連結会計年度末比171百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、買掛金が70百万円増加した一方、未払法人税等が99百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、8,754百万円と前連結会計年度末比428百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金が247百万円、為替換算調整勘定が133百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、1,776百万円となり、前連結会計年度末に比べて469百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは455百万円の収入(前年同四半期は385百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益694百万円、減価償却費55百万円、売上債権の減少額538百万円などの増加要因があった一方、棚卸資産の増加額353百万円、未払金の減少額167百万円、法人税等の支払額311百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは735百万円の支出(前年同四半期は161百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出732百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは230百万円の支出(前年同四半期は170百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額228百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点では2023年4月28日に発表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,247,466	1,777,941
受取手形	78,949	43,357
売掛金	1,871,626	1,309,377
電子記録債権	417,494	509,782
商品及び製品	464,635	461,390
仕掛品	223,011	484,322
原材料	1,391,595	1,494,407
未収消費税等	16,755	57,980
その他	132,837	164,498
貸倒引当金	△1,998	△2,032
流動資産合計	6,842,373	6,301,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	726,580	705,631
土地	1,071,534	1,205,850
その他(純額)	397,797	978,610
有形固定資産合計	2,195,912	2,890,091
無形固定資産	41,366	38,949
投資その他の資産		
繰延税金資産	273,903	264,977
その他	512,944	628,258
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	786,048	892,435
固定資産合計	3,023,327	3,821,476
資産合計	9,865,700	10,122,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	273,736	344,135
未払法人税等	296,759	196,846
賞与引当金	110,930	117,639
役員賞与引当金	—	10,050
製品保証引当金	52,000	55,000
その他	432,286	247,231
流動負債合計	1,165,712	970,903
固定負債		
退職給付に係る負債	323,657	344,959
その他	50,074	52,144
固定負債合計	373,732	397,104
負債合計	1,539,444	1,368,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	644,876	646,792
利益剰余金	8,295,508	8,542,988
自己株式	△1,445,179	△1,435,949
株主資本合計	8,052,205	8,310,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,574	47,269
為替換算調整勘定	147,103	280,400
その他の包括利益累計額合計	170,677	327,669
非支配株主持分	103,373	115,993
純資産合計	8,326,256	8,754,494
負債純資産合計	9,865,700	10,122,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
売上高	2,816,113	3,251,263
売上原価	1,496,348	1,736,494
売上総利益	1,319,764	1,514,768
販売費及び一般管理費	777,816	855,418
営業利益	541,948	659,349
営業外収益		
受取利息	64	348
受取配当金	3,776	4,025
為替差益	20,244	6,011
持分法による投資利益	8,086	18,899
その他	1,300	1,468
営業外収益合計	33,472	30,753
経常利益	575,421	690,103
特別利益		
固定資産売却益	—	4,495
特別利益合計	—	4,495
税金等調整前四半期純利益	575,421	694,598
法人税等	205,094	212,629
四半期純利益	370,327	481,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,952	5,959
親会社株主に帰属する四半期純利益	358,374	476,009

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
四半期純利益	370,327	481,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,395	23,695
為替換算調整勘定	103,422	84,498
持分法適用会社に対する持分相当額	47,749	55,458
その他の包括利益合計	135,776	163,652
四半期包括利益	506,104	645,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,981	633,001
非支配株主に係る四半期包括利益	22,122	12,620

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	575,421	694,598
減価償却費	59,176	55,151
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△69	33
受取利息及び受取配当金	△3,840	△4,374
為替差損益(△は益)	△1,356	△2,256
持分法による投資損益(△は益)	△8,086	△18,899
売上債権の増減額(△は増加)	243,328	538,714
棚卸資産の増減額(△は増加)	△275,521	△353,047
仕入債務の増減額(△は減少)	57,242	70,399
未払金の増減額(△は減少)	△65,706	△167,437
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,719	6,709
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	7,200	10,050
株式報酬費用	5,717	5,181
製品保証引当金の増減額(△は減少)	10,000	3,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,239	21,193
未収消費税等の増減額(△は増加)	△27,891	△41,225
その他	△33,903	△90,275
小計	604,667	727,513
利息及び配当金の受取額	3,840	39,019
法人税等の支払額	△222,633	△311,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	385,874	455,503
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△147,235	△732,534
無形固定資産の取得による支出	△8,980	△5,385
投資有価証券の取得による支出	△4,843	△894
その他	△10	3,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,069	△735,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,082	△2,058
配当金の支払額	△168,612	△228,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,695	△230,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,232	41,067
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	89,342	△469,604
現金及び現金同等物の期首残高	2,029,266	2,246,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,118,609	1,776,643

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。